



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 エステー株式会社
 コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 鈴木 喬
 (氏名) 嶋田 洋秀

TEL 03-5906-0733

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,423	2.5	371	9.6	403	35.1	247	57.0
23年3月期第1四半期	9,194	△5.6	339	15.2	298	40.8	157	60.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 301百万円 (168.0%) 23年3月期第1四半期 112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	11.35	—
23年3月期第1四半期	7.22	7.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,791	20,034	67.8
23年3月期	30,010	19,971	64.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 19,513百万円 23年3月期 19,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,200	5.1	1,300	△24.5	1,000	△32.6	500	△39.4	22.95
通期	43,800	0.5	1,700	△19.6	1,100	△28.9	600	△23.7	27.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	23,000,000 株	23年3月期	23,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,214,539 株	23年3月期	1,214,499 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	21,785,491 株	23年3月期1Q	21,837,005 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故の影響により急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧に伴って鉱工業生産が増加に転じるなど、持ち直しの動きをみせております。個人消費につきましても、震災後には各種イベントの中止が相次ぎ、不要不急の支出を控える動きが広がったことから急速に落ち込みましたが、自粛ムードが和らぐにつれて回復のきざしをみせております。

当社におきましても、東日本大震災の影響を受け、福島工場の操業を見合わせておりましたが、設備の点検・整備に取り組んだ結果、4月11日より生産をほぼ全面再開いたしました。

こうした状況の中、当社グループは引き続き「絞り込みと集中」、「世にない商品の開発」、「スピード経営」の3点を基本戦略とし、“デザイン×フレグランス革命”をテーマに掲げ、商品の差別化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、94億23百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

利益面では、引き続き製造コストや販売費及び一般管理費の削減に取り組み、また、関係会社の業績が概ね好調に推移したため、営業利益3億71百万円（同9.6%増）、経常利益4億3百万円（同35.1%増）、四半期純利益2億47百万円（同57.0%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、28億17百万円（同0.6%減）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、東日本大震災の影響で福島工場が約1ヵ月間操業を休止し、これによる商品供給力の低下を考慮して衣替えの時期に例年のような販促活動を行なわなかったため、前年同期比で減収となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、震災による復興需要等から、中厚ビニール手袋等の売上が伸長したため、前年同期比で増収となりました。

サーモケア（カイロ）部門は、昨年初春の寒波により伸長した売上が減少したものの、被災地での商品需要が大きかったこと等から、シーズン終了後の返品も減少しました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、66億5百万円（同3.9%増）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、東日本大震災からの復興に向けたメッセージを込めて作成したテレビコマーシャルがご好評を頂き、「消臭力」の売上高が伸長したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、「ドライペット」シートタイプの売上は堅調に推移しましたが、その他の商品の売上が低迷したため、売上高は前年同期比で減収となりました。

ホームケア（その他）部門は、お米の虫よけ「米唐番」が売上を伸長した他、最近1年間に発売した「おひさまの洗たく くつクリーナー」、「おひさまの消臭 ふとん用スプレー」、「トイレの消臭ポット 香りのクリーナーズスプレー」、「天然ハーブの自動でシュパッと虫よけ」が売上に寄与したため、前年同期比で増収となりました。

各カテゴリー別の売上高は以下のとおりであります。

カテゴリー	売上高	前年同期比
衣類ケア（防虫剤）	1,968百万円	7.9%減
ハンドケア（手袋）	879百万円	20.2%増
サーモケア（カイロ）※	△29百万円	—
エアケア（消臭芳香剤）	4,869百万円	4.1%増
湿気ケア（除湿剤）	899百万円	4.2%減
ホームケア（その他）	836百万円	12.8%増

※サーモケア（カイロ）の前年同期売上高は、△33百万円でした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して12億19百万円減少し、287億91百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少10億12百万円、受取手形及び売掛金の減少7億69百万円、商品及び製品の増加4億47百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して12億81百万円減少し、87億57百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少7億49百万円、未払金の減少2億81百万円、未払費用の減少2億81百万円、未払法人税等の減少1億9百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して62百万円増加し、200億34百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加18百万円、為替換算調整勘定の増加17百万円であります。以上の結果、自己資本は195億13百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.9ポイント増加し、67.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年4月27日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき重要な事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,399,349	5,387,107
受取手形及び売掛金	4,441,771	3,672,374
有価証券	54,832	56,713
商品及び製品	4,241,596	4,689,016
仕掛品	109,600	139,668
原材料及び貯蔵品	448,188	383,197
繰延税金資産	402,263	341,070
その他	439,097	637,040
貸倒引当金	△13,472	△11,059
流動資産合計	16,523,227	15,295,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,994,534	1,972,086
機械装置及び運搬具（純額）	752,631	777,436
工具、器具及び備品（純額）	240,100	255,158
土地	3,284,182	3,287,293
リース資産（純額）	14,032	20,319
建設仮勘定	26,999	36,672
有形固定資産合計	6,312,482	6,348,967
無形固定資産	282,573	247,587
投資その他の資産		
投資有価証券	5,052,881	5,061,768
長期貸付金	72,219	67,895
繰延税金資産	348,676	347,617
その他	1,418,764	1,422,764
投資その他の資産合計	6,892,541	6,900,045
固定資産合計	13,487,598	13,496,600
資産合計	30,010,825	28,791,728

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,368,927	4,619,048
リース債務	8,202	9,752
未払金	1,835,295	1,553,813
未払費用	578,352	296,920
未払法人税等	203,126	93,726
未払消費税等	66,706	42,608
返品調整引当金	120,700	156,700
災害修繕等損失引当金	39,100	16,314
その他	65,717	220,406
流動負債合計	8,286,128	7,009,291
固定負債		
リース債務	13,758	18,645
再評価に係る繰延税金負債	380,774	380,774
退職給付引当金	1,234,189	1,243,197
役員退職慰労引当金	124,033	104,433
その他	—	822
固定負債合計	1,752,755	1,747,873
負債合計	10,038,883	8,757,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	7,955,753	7,963,479
自己株式	△1,722,289	△1,722,323
株主資本合計	20,366,779	20,374,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159,860	178,025
土地再評価差額金	△549,593	△549,593
為替換算調整勘定	△506,498	△489,082
その他の包括利益累計額合計	△896,231	△860,649
新株予約権	82,020	85,961
少数株主持分	419,374	434,780
純資産合計	19,971,942	20,034,563
負債純資産合計	30,010,825	28,791,728

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	9,194,647	9,423,268
売上原価	5,006,699	5,105,404
売上総利益	4,187,947	4,317,864
返品調整引当金戻入差額	17,300	△36,000
差引売上総利益	4,205,247	4,281,864
販売費及び一般管理費	3,866,072	3,910,029
営業利益	339,175	371,834
営業外収益		
受取利息	3,587	1,886
受取配当金	16,156	15,806
仕入割引	50,109	47,249
持分法による投資利益	46,390	146,781
受取手数料	9,981	958
貸倒引当金戻入額	—	2,412
その他	21,416	17,800
営業外収益合計	147,642	232,894
営業外費用		
支払利息	270	781
売上割引	175,808	189,121
その他	12,167	11,320
営業外費用合計	188,246	201,223
経常利益	298,571	403,505
特別利益		
固定資産売却益	7	—
貸倒引当金戻入額	1,117	—
特別利益合計	1,124	—
特別損失		
固定資産除売却損	7,345	5,116
災害による損失	—	17,772
特別損失合計	7,345	22,889
税金等調整前四半期純利益	292,350	380,616
法人税、住民税及び事業税	86,260	64,245
法人税等調整額	39,947	62,210
法人税等合計	126,208	126,455
少数株主損益調整前四半期純利益	166,141	254,161
少数株主利益	8,537	6,787
四半期純利益	157,604	247,373

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,141	254,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,102	△2,361
為替換算調整勘定	27,287	25,713
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,680	24,358
その他の包括利益合計	△53,496	47,710
四半期包括利益	112,645	301,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,228	282,955
少数株主に係る四半期包括利益	20,416	18,916

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計(千円)
	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	2,834,262	6,360,385	9,194,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,834,262	6,360,385	9,194,647
セグメント利益	238,672	100,502	339,175

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計(千円)
	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	2,817,884	6,605,383	9,423,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,817,884	6,605,383	9,423,268
セグメント利益	204,025	167,809	371,834

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。